

# BIXOLON®

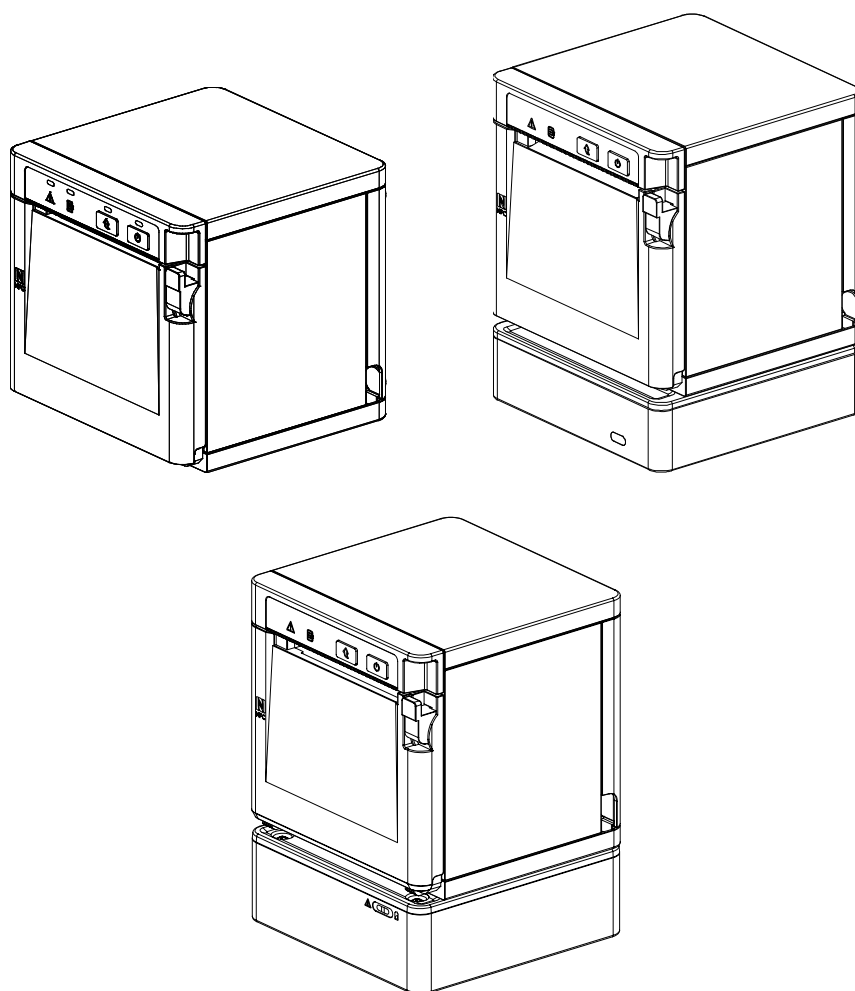
## ユーザーガイド

# SRP-Q300/302

---

### 感熱式プリンター

Rev. 1.02



<http://www.bixolon.co.kr>

## 製品紹介

SRP-Q300/302シリーズは、POS(Point Of Sales)やその他の周辺機器に連動して使うように設計されたプリンターです。

### ※ プリンターの主な特徴

1. 感熱式プリンターおよびB-gate
2. 最大220mm/秒の高速速度
3. 寸法
  - SRP-Q300/302 : 128 x 125 x 125 (幅 x 奥行 x 高)
  - SRP-Q300H/302H : 128 x 125 x 160.2 (幅 x 奥行 x 高)
  - SRP-Q300M : 128 x 125 x 168 (幅 x 奥行 x 高)
4. USB、イーサネット、無線LAN、Bluetoothインターフェース対応 (オプション)、携帯端末への給電可能
5. データバッファ内蔵 (印字中にも印字データ受信可能)
6. 様々なバーコード印刷可能
7. 印字濃度や印字速度を選択可能 (仮想メモリスイッチでの調整)

新しくプリンターをお買い上げのお客様は、ご使用になる前、このガイドの内容を必ずお読みください。

### ※ 信頼できる純正の消耗品をご使用ください!

- 再生品などの類似品のご使用による製品の損傷に対する品質の保証やサービスの責任は負いかねません。

## バッテリー類の安全上のご注意

SRP-Q300B/Q302Bをお買い上げの方は、ご使用前に、必ずこのガイドをお読みください。

### 警告

1. 使用上記載の充電時間以上過ぎてもバッテリーが充電されない場合、充電を中止し、ご購入の販売店までご連絡ください。
2. 保管時および使用時には、バッテリーが液体（水、塩分を含めた水分など）に接しないようにご注意ください。過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。
3. バッテリーを50℃以上の高熱に晒したり、高温高湿な環境で使用および保管しないようにご注意ください。過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。尚、バッテリーの寿命や性能が低下する原因になることもあります。特に、火の近いところに置いたり、ヒーターなどの暖房器具の近くに保管した場合、爆発の恐れがあります。
4. バッテリーを電子レンジや、炊飯器などの高圧調理器具に入れないようにご注意ください。過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。
5. バッテリーを直射日光の当たるところや、車内などの高温の場所に放置しないようにご注意ください。バッテリーの寿命や性能の低下、もしくは、過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。
6. ご使用の際、下記の温度範囲をご確認ください。この範囲外の温度でご使用の場合、バッテリーの寿命や性能の低下、もしくは、過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。
  - 充電時：0 ～ 40℃
  - 動作時：-15 ～ 50℃
  - 長期保管時（30日間以上）：-15 ～ 40℃
7. バッテリーの充電時は、当社承認のアダプターやチャージャーであることをお確かめください。保証外のアダプターやチャージャーをお使いの場合、バッテリーの寿命や性能の低下、もしくは、過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。
8. バッテリーをプリンターに取り付ける際には、(+)端子と(-)端子の位置をお確かめください。取り付けの方向が間違っている場合、バッテリー内部の異常な化学反応により、過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。
9. バッテリーの(+)端子や(-)端子に金属素材の物質が触れないようにご注意ください。尚、金属素材の物体（ネックレス、ヘアピン、コインなど）と一緒に保管したり、運搬したりしないようにご注意ください。過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。
10. 静電気が発生しやすい環境で、バッテリーを使用しないようにご注意ください。保護装置の損傷により、バッテリーの寿命や性能の低下、もしくは、過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。

11. バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないようにご注意ください。バッテリー内部の保護装置の損傷により、バッテリーの寿命や性能の低下、もしくは、過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。
12. バッテリーを分解したり、改造しないようにご注意ください。本バッテリーは、内部に危険を防止するための保護装置があります。これの損傷により、バッテリーの寿命や性能の低下、もしくは、過熱、破裂、発火などの原因になることがあります。
13. バッテリー内部から零れた物質が目や肌に飛び散った場合は、すぐに流水で洗い流し、お近くの病院を訪問してください。
14. バッテリーは、子供や幼児の手の届かない場所に保管してください。もしバッテリーの内容物などを飲み込んだ場合、すぐにお近くの病院に連絡してください。
15. バッテリーの使用、保管、充電の際、異様な匂い、過熱、変色、変形、漏出などが感知出来た場合、すぐにプリンターからバッテリーを取り外すか、チャージャーの接続を解除してください。



## **推奨**

1. 本ガイドに記載された充電時間以上、充電しないでください。バッテリーの寿命や性能の低下の原因になることがあります。
2. バッテリーが長期間使われないと予想される場合、プリンターから取り外し、湿度の低い場所に保管してください。
3. プリンターのご使用の後には、必ず電源を切ってください。電源を入れたままにしておいた場合、バッテリーの寿命や性能の低下の原因になることがあります。
4. 長期間使われてないバッテリーは、正常に充電できない場合があります。長期間プリンターを使わない場合でも、バッテリーは約6ヶ月に1回の周期で充電してください。
5. バッテリーの(+)端子や(-)端子に汚れが見つかった場合、乾いた布できれいに拭き取ってください。バッテリーの端子の汚れは、プリンターとの接続が不安定にさせ、電源が切れるか充電されないなどの原因になることがあります。

## **廃棄**

1. 本バッテリーの廃棄の際には、完全に放電状態で、各端子をテープで遮断した上、法律上定められた手続きに従い、指定された場所に捨ててください。

## 安全に関するお知らせ

-  **警告:** 身体に深刻な傷害を負う可能性のある危険を避けるため、注意を払って従うべき内容です。
-  **注意:** 身体の軽い傷害、機器の故障、またはデータの損失を避けるため、従うべき内容です。

## 記号情報

	DC (直流)
	エラー、警告、注意
	用紙がありません
	紙送り
	スタンバイ
	NFC
	充電
	USB
	イーサネット

# 目次

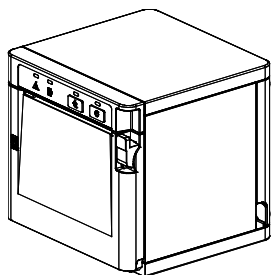
<b>1. プリンターの設置および基本操作</b>	<b>7</b>
1-1 構成品の確認	7
1-2 インタフェース	8
1-2-1 USBインタフェース	8
1-2-2 イーサネットインタフェース	9
1-2-3 無線LANインタフェース(オプション)	10
1-2-4 Bluetoothインタフェース(オプション)	10
1-2-5 NFC(Near Field Communication)(内蔵)	11
1-3 ドロア(DRAWER)ポート	12
1-4 電源の接続	13
1-5 プリンターの設置	15
1-6 プリンターの設定変更	15
1-7 用紙のセッティング・交換	16
1-8 推奨用紙	18
1-9 紙詰まりの解除	18
1-10 プリンター本体の表示ランプ	19
1-11 バッテリーの表示ランプ (SRP-Q300Bの場合)	20
<b>2. セルフテスト</b>	<b>21</b>
<b>3. HEXダンプ印字機能</b>	<b>23</b>
<b>4. 仕様</b>	<b>24</b>
<b>5. お手入れ</b>	<b>25</b>
5-1 プリンター本体のお手入れ	25

# 1. プリンターの設置および基本操作

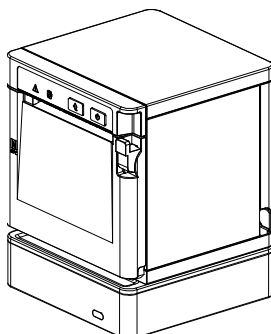
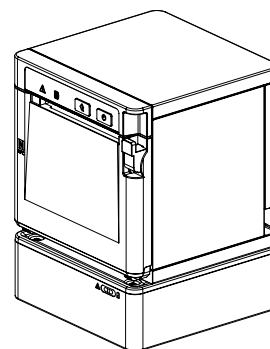
## 1-1 構成品の確認

- 下記の内容をご確認の上、欠品があるご判断された場合、ご購入の販売店へご連絡ください。

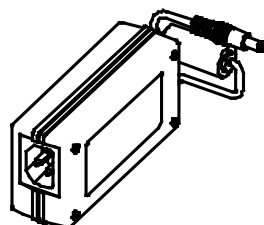
### - 製品



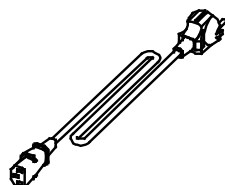
SRP-Q300/302

SRP-Q300H/Q302H  
(B-gate 対応)SRP-Q300B/Q302B  
(バッテリー付き)

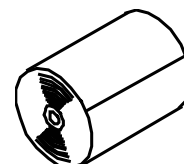
### - 基本付属品



AC/DC アダプタ



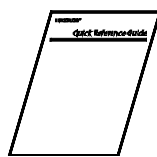
電源コード



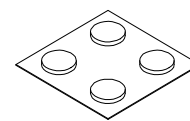
ロール紙



CD

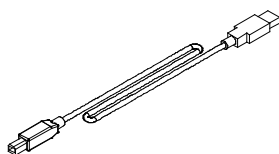


設置ガイド



ゴム足

### - オプション品

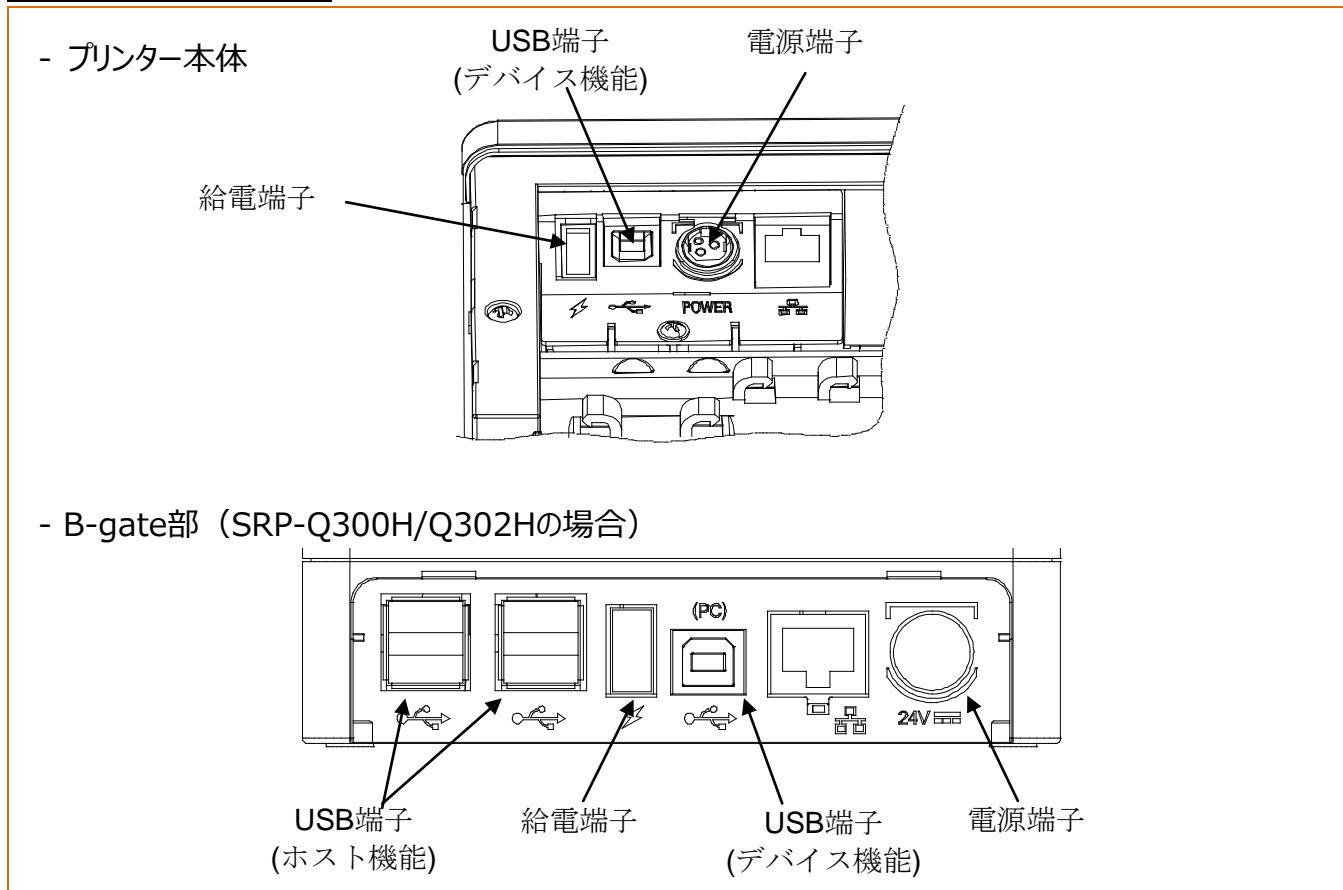


USB A-B ケーブル

**1-2 インタフェース**

- ホストデバイス(POS)の仕様に適合するインタフェースケーブルを利用し、プリンターへ接続します。

**1-2-1 USBインタフェース**



ピン番号	信号名	指定 (色)	機能
Shell	Shield	Drainケーブル	フレームグラウンド
1	VBUS	赤	ホスト電源
2	D-	白	データライン(D-)
3	D+	緑	データライン(D+)
4	GND	黒	信号グラウンド

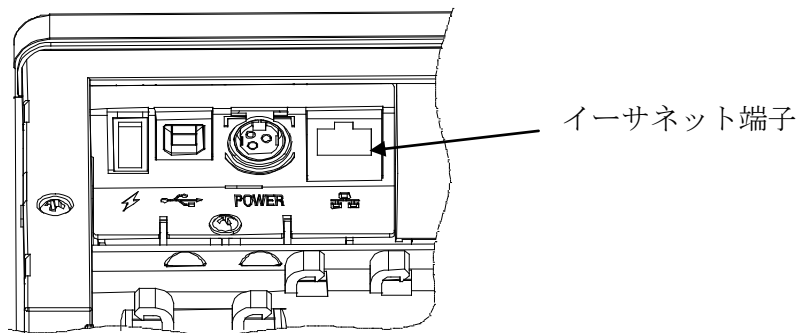
**⚠️ 注意**

- 全てのケーブルの接続は、製品の電源がOFFの状態で行ってください。
- 給電端子は、携帯端末を充電するための専用端子です。(通信はできません)
- 給電端子からの充電電流は、携帯機器によって異なる場合があります。
- SRP-Q300H/302Hの場合、プリンター本体側の通信端子 (USB、イーサネット) は使えません。
- SRP-Q300H/302Hのプリンター部とB-gate部を分離して使用することはできません。任意に分離された場合、故障の原因になります。

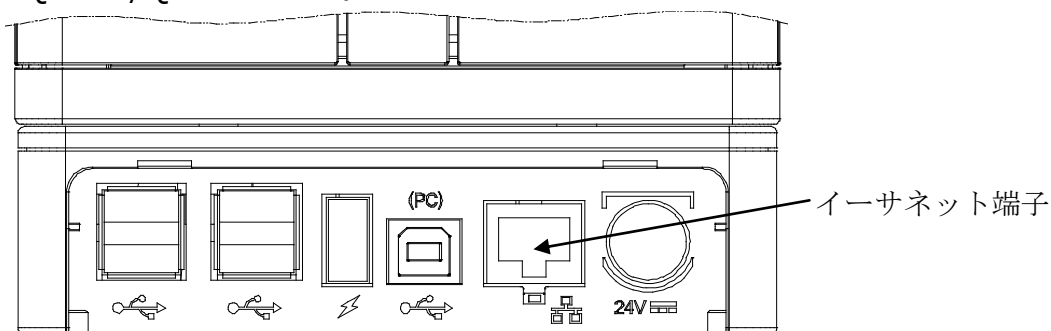


1-2-2 イーサネットインタフェース

- プリンター本体



- B-gate部 (SRP-Q300H/Q302Hの場合)



ピン番号	信号名	色	機能
1	TD+	白 オレンジ	送信 +
2	TD-	オレンジ	送信 -
3	TCT	白 緑	受信 +
4	NC	青	-
5	NC	白 青	-
6	RCT	緑	受信 -
7	RD+	白 茶色	-
8	RD-	茶色	-



**注意**

- 全てのケーブルの接続は、製品の電源がOFFの状態で行ってください。
- この端子はイーサネット通信専用であるため、イーサネット以外の規格のケーブルは使えません。
- SRP-Q300H/302Hの場合、プリンター本体側の通信端子（USB、イーサネット）は使えません。
- SRP-Q300H/302Hのプリンター部とB-gate部を分離して使用することはできません。任意に分離された場合、故障の原因になります。

### 1-2-3 無線LANインタフェース(オプション)

- プリンター本体

#### 1) 無線LAN通信仕様

区分	仕様
周波数	2.4GHz / 5GHz
プロトコル	802.11 a/b/g/n

#### 2) 無線LANの接続

- \* プリンターとの無線LANでの通信に対応している端末(PDA、PC、スマホ、タブレットPCなど)に接続できます。
- \* さらに詳細な接続方法については、無線LAN接続ガイドをご参照ください。

- B-gate部 (SRP-Q300H/Q302Hの場合)

#### 1) 無線LAN dongle対応リスト

メーカー	モデル	周波数	プロトコル
TP-Link	TL-WN727N (V3)	2.4GHz	802.11 b/g/n
TP-Link	TL-WN727N (V4)	2.4GHz	802.11 b/g/n
TP-Link	AC600	2.4GHz / 5GHz	802.11 a/ac/b/g/n



**注意**

- SRP-Q300H/302Hの場合、プリンター本体側の通信端子 (USB、イーサネット) は使えません。
- SRP-Q300H/302Hの場合、無線LAN通信をご使用になる際には、上記リストのUSB Dongleをご用意いただく必要があります。

### 1-2-4 Bluetoothインタフェース(オプション)

#### 1) Bluetooth通信仕様

区分	仕様
周波数	2.4GHz
バージョン	4.2
モジュールタイプ	Class 1 (BLE)

## 2) Bluetoothの接続

- \* プリンターとのBluetooth通信に対応している端末(PDA、PC、スマホ、タブレットPCなど)に接続できます。
- \* さらに詳細な接続方法については、Bluetooth接続ガイドをご参照ください。

## 1-2-5 NFC(Near Field Communication)(内蔵)

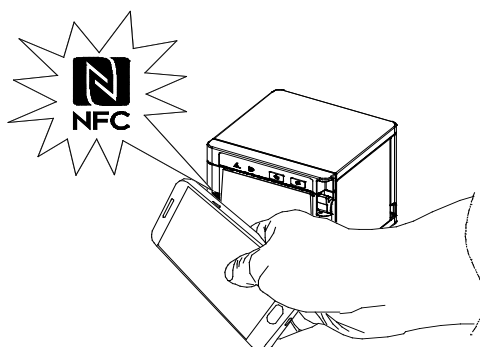


## 1) NFC通信仕様

区分	仕様
周波数	13.56 MHz
標準	ISO14443A – 106Kbps
タイプ	タグタイプ2
認識距離	最長10mm*

## 2) NFCの接続

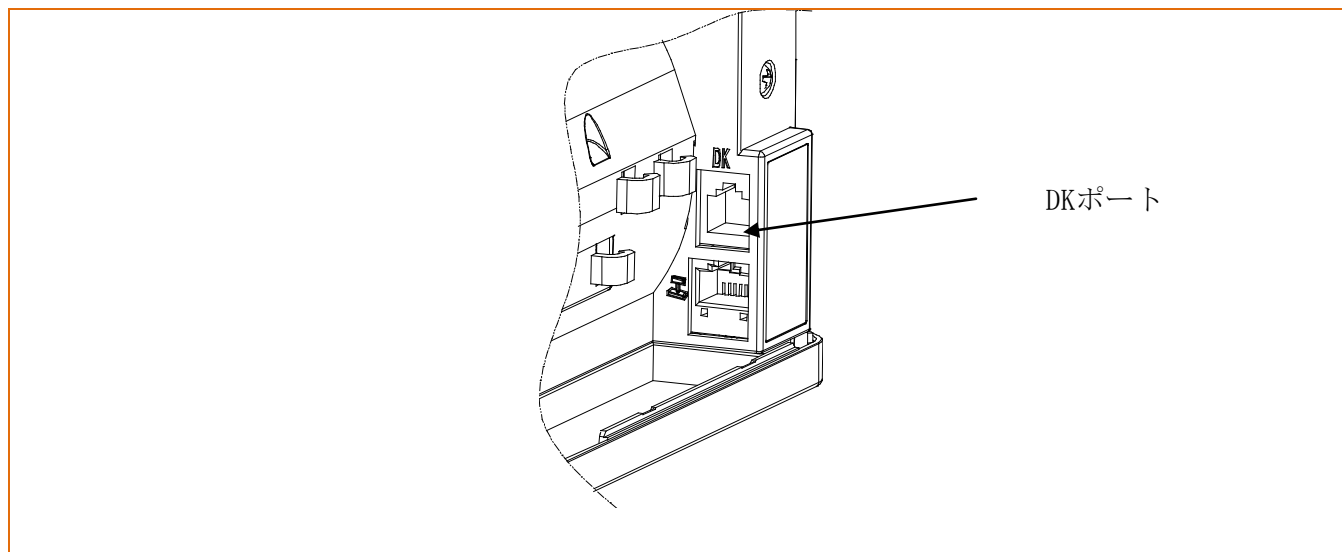
- プリンターとのNFC通信に対応している(PDA、スマホ、タブレットPCなど)に接続できます。



- NFCを正確に認識させるためには、プリンター本体のNFCマークと、ホスト端末のNFCのところがちゃんと合わせられ、読み取りできるまでかざし続けてください。
- 認識可能な距離は、ホスト端末の機種または使用環境によって異なる場合があります。
- 本機能は、NFC対応のAndroid端末でのみ使用可能です。

### 1-3 ドロア(Drawer)ポート

- キャッシュドロアの接続ケーブルを、プリンター背面のDKポート（ドロア・キックアウト・ポート）に接続してください。



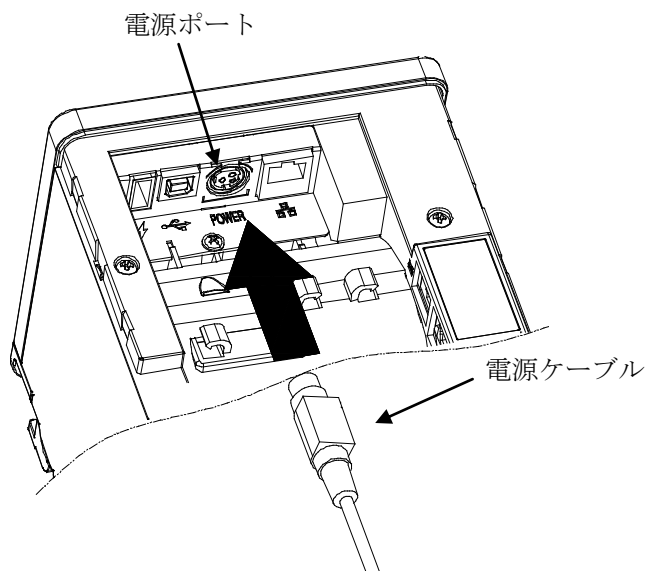
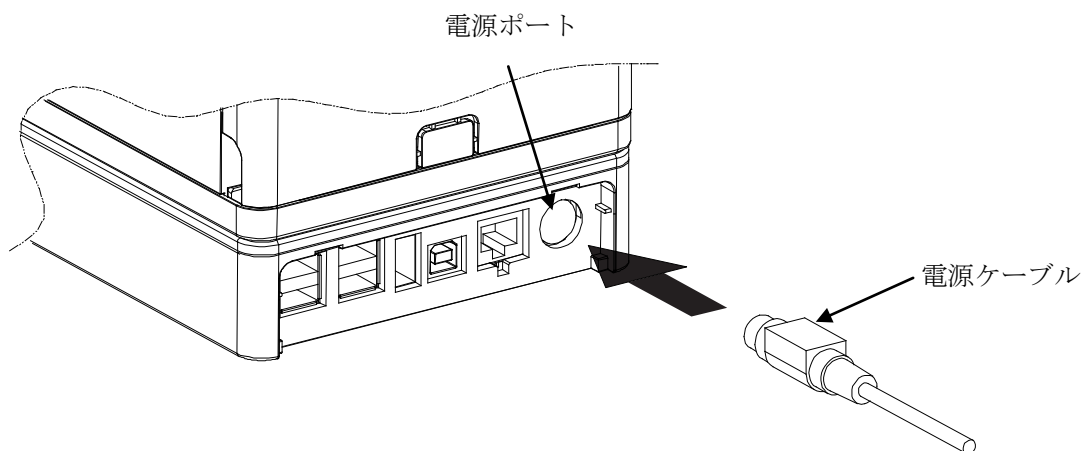
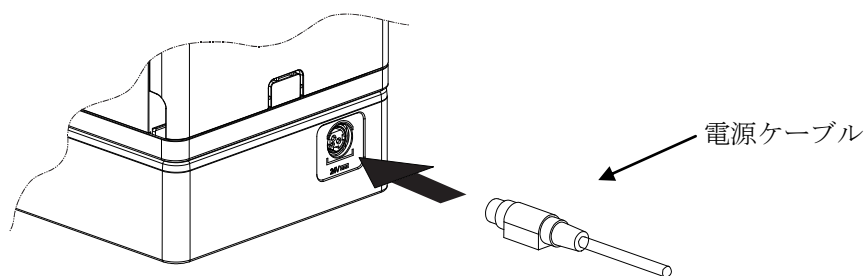
ピン番号	信号名	方向
1	フレームグラウンド	-
2	ドロアキックアウトドライブ信号1	出力
3	ドロア開閉信号	入力
4	+24V	-
5	ドロアキックアウトドライブ信号2	出力
6	信号グラウンド	-

#### ⚠️ 注意

- プリンター仕様に合っているキャッシュドロアをご使用ください。仕様上、対応していないキャッシュドロアを接続したり、このポートを他のデバイスの給電目的でご使用になる場合、製品故障の原因となります。
- DKポートに電話線を接続しないでください。製品故障の原因となります。
- DKポートに導体になるような異物に触れないようにご注意ください。製品故障の原因となります。
- キャッシュドロアは、内部コイルの抵抗値が $24\Omega$ 以上の製品をご使用ください。（許容される最大電流は1Aです）最大電流を超える場合、製品故障の原因となります。
- キャッシュドロアの開閉信号をOnにする時間は、最大0.8秒を超えないようにし、その次の信号までは、開放信号の時間の4倍以上の時間をおいてください。（例えば、開放信号が0.8秒の設定の場合、3.2秒以上の周期で開放）開放時間が長すぎる場合、製品故障の原因となります。

**1-4 電源の接続**

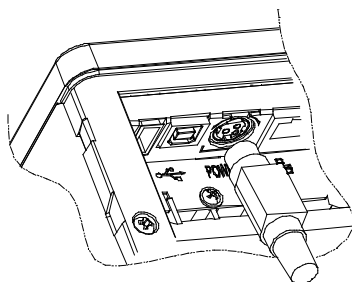
- 1) 電源供給ユニットの接続は、必ず製品本体の電源がOFFの状態で行ってください。
- 2) 下図のように電源ケーブルの平らな面がプリンターの外側を向くように接続してください。

**- プリンター本体****- B-gate部 (SRP-Q300H/Q302Hの場合)****- SRP-Q300B/Q302Bの場合(バッテリーの充電)**

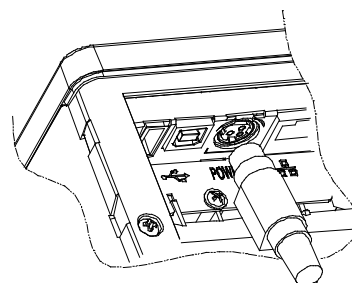


注意

- 電源供給ユニットは、当社から提供される製品をご使用ください。弊社ご提供以外の電源供給ユニットをご使用中に発生した不具合に対する責任は負いかねません。
- 電源供給ユニットの電氣的仕様については、電源供給ユニットのラベルからご確認ください。
- 電源供給ユニットを取りぬく際には、電源ケーブルのプラグ端子とプリンター本体を堅く固定し、水平方向に抜いてください。
- SRP-Q300H/Q302Hの場合、電源はB-gate部に接続してください。電源をプリンター側に接続した場合、製品が正常に動作しない場合があります。
- 電源を接続・解除する際は、必ず電源供給ユニットをコンセントから消去してください。
- 電源供給ユニットとコンセントの電圧が合っていない場合、電源供給ユニットの接続を中止し、ご購入の販売店までご連絡ください。電圧の合っていない電源供給ユニットを接続された場合、製品故障の原因となります。
- 電源ケーブルの接続じ、挿入方向にご注意ください。



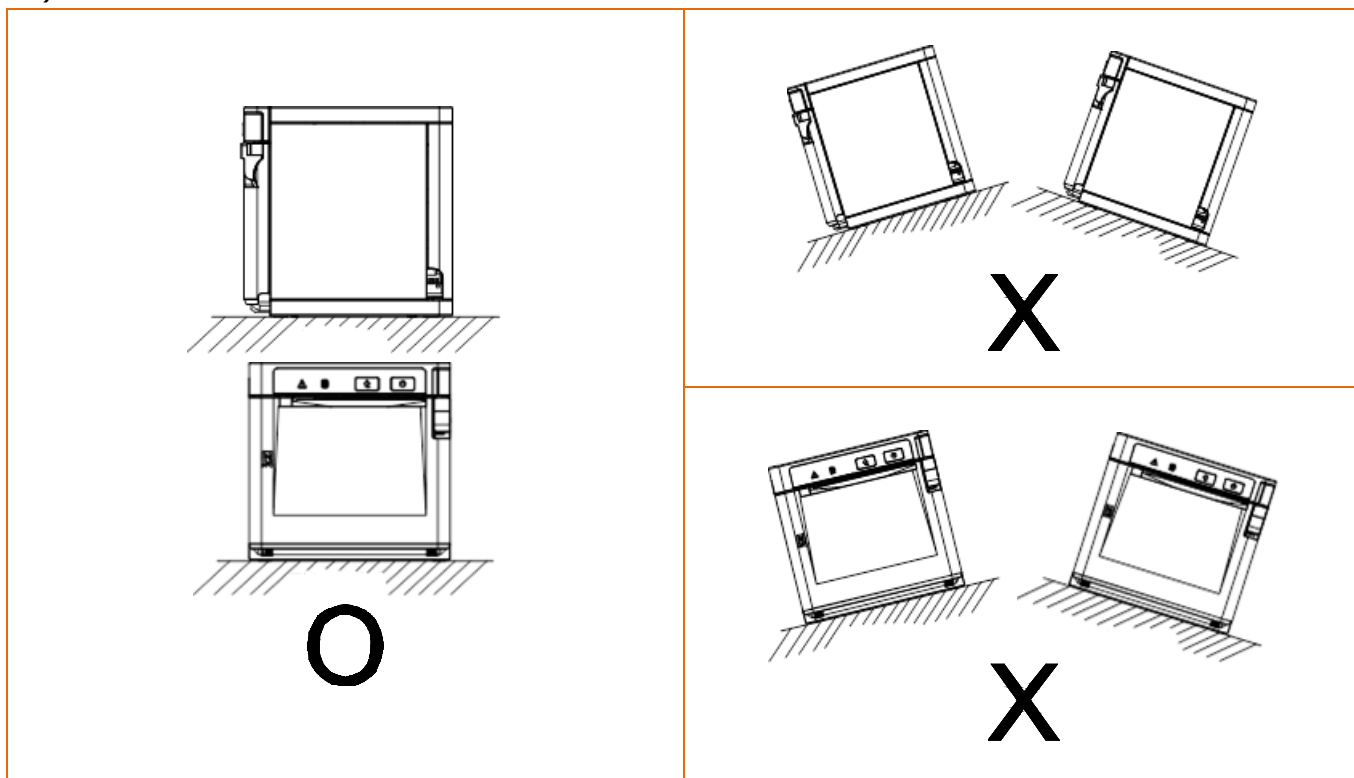
O



X

## 1-5 プリンターの設置

1) プリンターの設置の際には、地面と水平したテーブルの上に置いてご使用されることをお奨め致します。



**注意**

- 傾いた状態でご使用された場合、製品に発生する可能性のある故障または性能面  
の問題に対しては、当社は保証しません。

## 1-6 プリンターの設定変更

- 本製品は、Dipスイッチに対応していません。製品の設定変更のためには、仮想メモリースwitchのユーティリティプログラムをご利用いただくか、セルフテストの仮想メモリースwitch管理機能をご利用ください。
- さらに詳細な内容は、ユーティリティプログラムおよびサービスマニュアルをご参照ください。

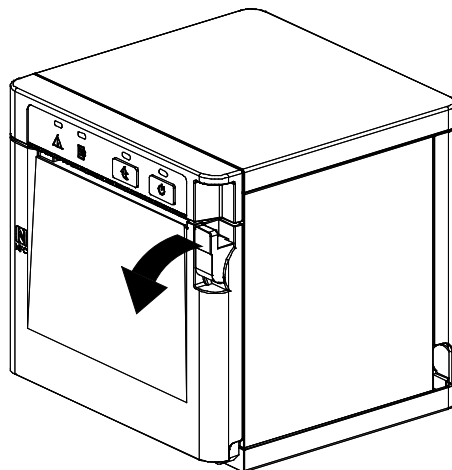


**注意**

- 仮想メモリースwitchユーティリティプログラムからプリンターの設定を変更された後は、  
必ず一度、プリンター本体の電源をOFF→ONしてください。

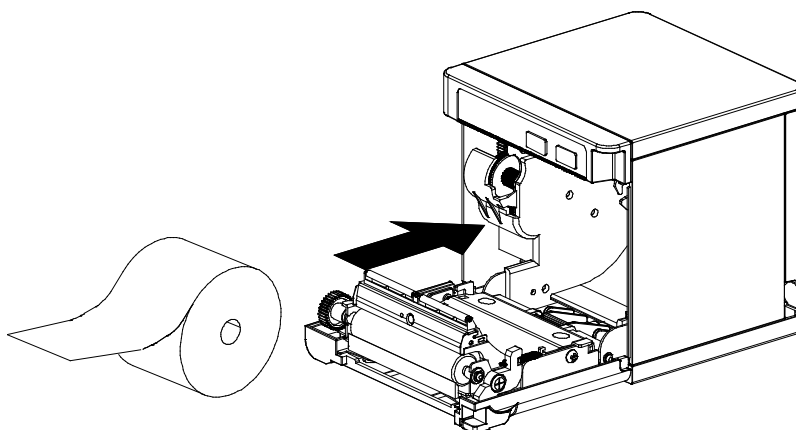
## 1-7 用紙のセッティング・交換

1) カバーのレバーを前に引いて、プリンターのカバーを開けてください。

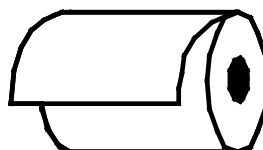


- プリンターの動作中には、プリンターのカバーを開けないでください。プリンター故障の原因となります。
- 本製品は、前面排出が基本設計になっています。上面排出の向きでご使用の際に発生する問題に対しては、保証しません。

2) 用紙を使い切った際には、残った用紙の芯を取り除き、下図のように新しい用紙に交換してください。

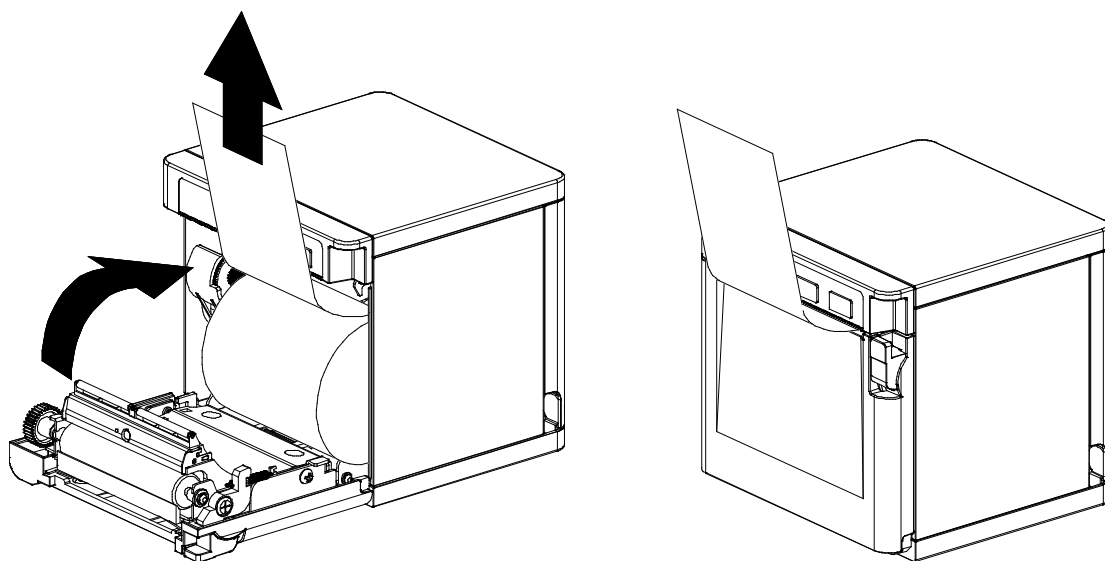


- 用紙を入れる際、巻きの方にご注意ください。





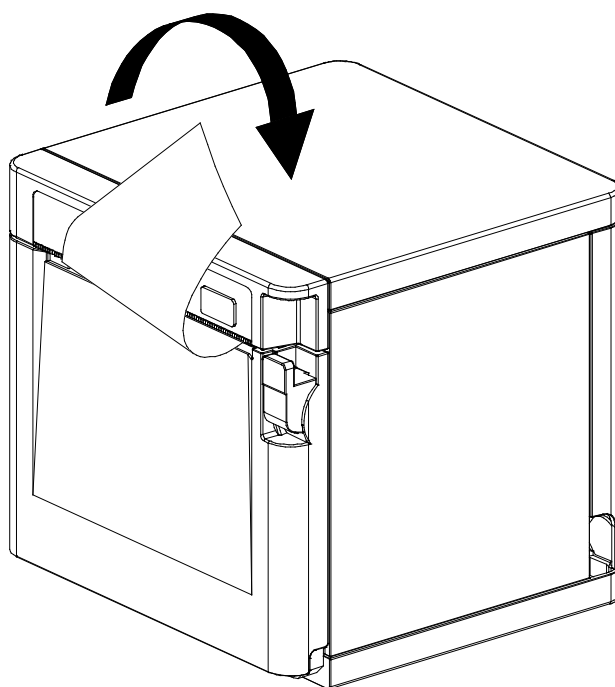
3) 下図のように用紙の端を少し引き出して、噛ませるようにしてカバーを閉じてください。



注意

- カバーを閉じる際、用紙がローラーに噛まれるよう、カチャッと音がするまできちんと閉じて下さい。

4) 下図のようにはみ出した用紙を切り取ってください。



注意

- 規格に合った用紙をご使用ください。  
- 用紙の交換は、プリンターがデータ受信中ではないことをご確認の上、行ってください。データが失われる恐れがあります。

## 1-8 推奨用紙

メーカー	商品型番	厚さ
日本製紙株式会社	TF50KS-E	65μm
王子製紙株式会社	PD 150R	75μm
王子製紙株式会社	PD 160R	75μm
Kansaki Specialty Paper, Inc. (USA)	P350	62μm
三菱製紙	P220AG	65μm
三菱製紙	P220A	65μm
Mitsubishi HitecPaper Flensburg GmbH	F5041	65μm



注意

- 上記推奨用紙リストに未記載の用紙のご使用により発生する可能性のあるプリンターヘッドの損傷および印字品質の問題については責任を負いません。
- 上記推奨用紙リストに未記載の用紙をご使用の場合でも、同等レベルの用紙であることをご確認ください。

## 1-9 紙詰まりの解除

- カバーを開け、詰まっている用紙を取り除き、カバーを閉じます。
- あまりひどくない紙詰まりの場合は、カバーを開けるだけで引っかかっていたカッターが元の位置に戻ることがあります。



注意

- 排出口の上部に手をかざしたりする場合、紙詰まりの原因となることがあります。
- 紙詰まりにより、カッターが正常な位置に戻らず、カバーが開かないことがあります。その場合、電源をOFF → ONすると、自動的にカッターが元の位置に戻ることがあります。



警告

- カバーが開かない場合、任意に分解せず、ご購入の販売店もしくは、指定のサービスセンターまでご連絡ください。ドライバーなどの工具で無理に製品を開けようとすると、用紙のカット不良、または、製品の破損などの原因になります。

## 1-10 プリンター本体の表示ランプ



## ● エラー（表示ランプ）

用紙なし、カバーオープンなど、エラーが発生した時、赤く点灯します。



## ● 用紙（表示ランプ）

用紙がない時、赤い表示ランプが点灯します。このランプが点滅すると、セルフテストの待機状態、または、マクロの実行の待機状態であることを表します。



## ● 紙送り（表示ランプ+ボタン）

用紙を外へ排出させる時、紙送りボタンを押します。押し続けていると、連続的に排出されます。



## ● 電源（表示ランプ+ボタン）

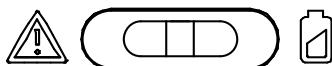
## - 電源ON

プリンターの電源を入れるためには、電源ランプが点灯されるまで、電源ボタンを押してください。

## - 電源OFF

プリンターの電源を切るためには、電源ボタンを約3秒間長押しします。ピープ音がし、エラー/紙送りのランプが消えたことをご確認の上、手を放します。

## 1-11 バッテリーの表示ランプ (SRP-Q300Bの場合)



● エラー (表示ランプ)

バッテリーの充電中や使用中に誤動作が発生すると、赤いLEDが点灯します。



注意

エラーランプが点灯した場合、プリンターの電源を落とし、ご購入の販売店もしくは指定のサービスセンターへご連絡ください。

エラー状態が続くと、過熱による火災発生の可能性があります。



● 電源 (表示ランプ)

バッテリーの充電中には、赤い表示ランプが点灯します。充電が完了すると、青い表示ランプが点灯します。

バッテリー残量が少ない場合は、赤いランプが点滅しますので、バッテリーを充電してください。



注意

- 電源が入らない場合は、アダプタのLEDが点灯しているかをご確認ください。
- SRP-Q300H/Q302Hの場合、電源ボタンを押したまま、全ての表示ランプの点滅が止まるまで待ってから手を離してください。

## 2. セルフテスト

• プリンターに異常が発生した場合は、セルフテストを確認することで、状態をチェックすることができます。プリンターが正常に動作しない場合、ご購入の販売店までご連絡をお願いします。セルフテストの確認は、下記の手順で行ってください。

- 1) プリンターに用紙が正しくセットされていることをご確認ください。
- 2) 紙送りボタンを押しながら電源ボタンを押してください。セルフテストの印字が開始されます。
- 3) プリンターの制御ROMのバージョンを含め、現在のステータス情報が印字されます。
- 4) 最後に下記のような文字が印字された後、一旦、止まります。  
(この時、「用紙」ランプは点灯状態です)。

**SELECT MODES BY PRESSING FEED BUTTON.**  
**Continuous SELF-TEST : Less than 1 second**  
**VMSM Selection : 1 second or more**

- 5) 次に行いたい作業によって、紙送りボタンを短く押すか、長押しします。

- 紙送りボタンを短押しした場合：セルフテスト印字を続ける。
  - ① 紙送りボタンを1秒以下に短押しした場合、プリンターは予め作成されていた文字フォーマットを印字します。
  - ② 印字が終わると、セルフテストは完了され、最後に下記のような行を印字した後、用紙を自動的にカットします。

**\*\*\* COMPLETED \*\*\***

- ③ セルフテスト完了後、プリンターは直ちに通常のスタンバイ状態になります。

- 紙送りボタンを長押しした場合：仮想メモリースイッチ管理（VMSM）モードに入る。
  - ① 紙送りボタンを1秒以上に長押しした場合、VMSMモードに入り、下記のように印字されます。

**\*\* VMSM Selection \*\***  
**0 : Exit and reboot printer**  
**1 : Print current settings**  
**2 : Set Print Density**

- 3 : Set Print Speed
- 4 : Set Cutting mode
- 5 : Set Internal Buzzer control
- 6 : Set Buzzer control after cutting
- 7 : Set International Character
- 8 : Print Maintenance Counter
- 9 or more : None

- ② 上記の選択肢の実行のためには、紙送りボタンを下記のように操作します。
- i. 設定項目の選択：設定したい項目を選択するため、各項目の前に表示されている数字と同じ回数だけ、ボタンを連打します。
  - ii. 設定項目へ入る：1秒以上長押しすると、選択状態の項目が反映されます。

※ 備考

上記設定メニューにない項目を選択した場合、「VMSM Selection」リストを再印字します。尚、上記で有効な項目が選択されなかったら、モード設定がキャンセルされます。

- ③ VMSMの設定変更が完了した後、紙送りボタンを1秒以上長押しすると、変更内容が保存され、下記のようなテキストが印字された後、用紙を自動的にカットします。

\*\*\* COMPLETED \*\*\*

この際、もし「0 : Exit and reboot printer」機能が実行されないと、設定情報はプリンターに保存されません。

- 6) プリンターが再起動し、変更した設定情報が適用されます。



注意

- 設定が変更されない場合、ご購入の入り店までご連絡ください。

### 3. HEXダンプ印字機能

• この機能は、エンジニア対象に、プリンターがやり取りしているデータを確認し、ソフトウェア的な問題を診断する時に使います。プリンターの全てのデータやコマンドが16進数のフォーマットで印字されるため、特定のコマンドを検索することができます。

• この機能は、下記の手順で行います。

- 1) プリンターの電源を切った後、プリンターのカバーを開けます。
- 2) 紙送りボタンを押したままの状態、プリンターの電源を入れます。
- 3) プリンターのカバーを閉じると、HEXダンプモードに入ります。
- 4) ホスト側からデータが送れるソフトウェアを立ち上げ、プリンターヘータを送信してください。
- 5) プリンター側に受信されたデータ、2列に分かれて印字されます。

左側の列は16進数のコードを表し、右側の列はそのコードに当該するASCII文字を表示します。

```

1B 21 00 1B 26 02 40 40 40 40    . ! . . & . @ @ @ @
02 0D 1B 44 0A 14 1E 28 28 28    . . . D . . . . ( ( (
00 01 0A 41 0D 42 0A 43 43 43    . . . A . B . C C C

```

- マッチするASCII文字がない場合は、「.」で表示されます。
- HEXダンプ印字モードに入っている間は、全てのコマンドが無視されます。

6) HEXダンプ印字が終了したら、プリンターの電源をOFFにしてください。

7) プリンターを再起動させると、HEXダンプモードが解除されます。



注意

- 上記に案内された手順でHEXダンプモードへ入れなかった場合は、ご購入の販売店もしくは指定されたサービスセンターへご連絡ください。

## 4. 仕様

項目		SRP-Q300	SRP-Q302
印字方式		感熱方式	
印字濃度		180 dpi (7ドット/mm)	203 dpi (8ドット/mm)
印字幅		3インチ (72mm)	
用紙幅		3インチ (79.5±0.5 mm)	
ライン当たりの文字数 (デフォルト値)		フォント A : 42文字 フォント B・C : 56文字	フォント A : 48文字 フォント B・C : 64文字
印字速度		最大220mm/秒	
受信バッファ		4Kバイト	
インタフェース		USB、LAN、Bluetooth、USB給電、無線LAN、NFC、LCDポート SRP-Q300H/Q302Hの場合 : USBホストx4ポート、LAN、Bluetooth、USB給電、無線LAN (ドングル対応)	
ドローポート		Y型ケーブル使用の場合、2ポート	
バッテリーチャージャー	充電電圧	24.8V	
	充電電流	930mA ~ 1,000mA	
バッテリーパック (SRP-Q300B/Q302Bの場合)	セル	リチウムイオン	
	電圧	通常 : 21.9V	
	充電電力	2750mA/時間	
	充電時間	約4時間以内	
電源供給ユニット	充電回数	250回まで (1770mA以上基準)	
	入力電圧	100~240 VAC	
	周波数	50/60 Hz	
環境条件	出力電圧	24 VDC	
	温度	0 ~ 40 °C (動作時)、-20 ~ 60 °C (保管時)	
	湿度	10 ~ 80% RH (動作時)、10 ~ 90% RH (保管時) ※用紙を除く	
信頼性	プリントヘッド	150km *	
	カッター	150万カット	

\* ) この値は、標準温度、指定用紙、工場初期設定の状態での測定された値であり、温度や印字レベルなど、条件によって変化することがあります。



注意 - 印字速度は、データの転送速度やコマンドの組合によって多少遅くなる場合があります。



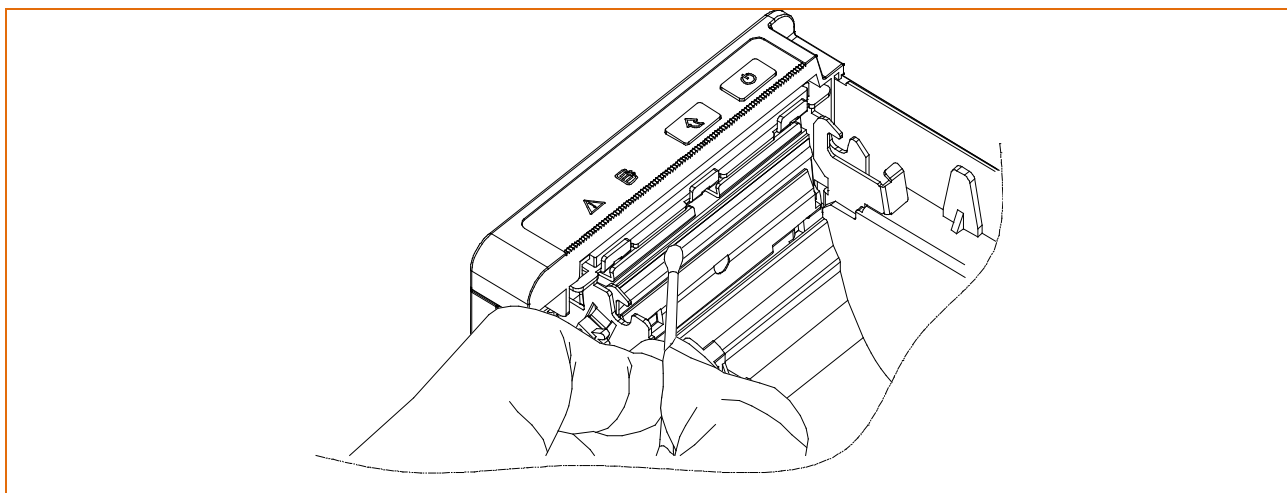
## 5. お手入れ

### 5-1 プリンター本体のお手入れ

- プリンターの内部に塵などがある場合、印字品質が低下する場合があります。

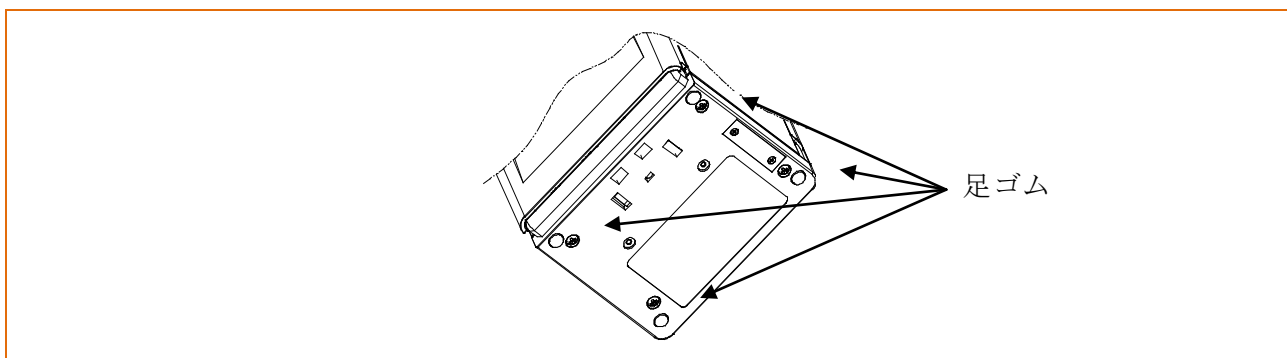
この場合、以下の手順でプリンターを掃除してください。

- 1) プリンターのカバーを開け、使用中の用紙を取り除きます。
- 2) プリントヘッドに残っている異物や汚れは、エタノールやIPA（イソプロピルアルコール）を付けた綿棒などで拭いてください。



- 3) 綿棒または乾いた布で用紙検知センサーやペーパーローラーを拭いてください。
- 4) 用紙を取り付け、カバーを閉じてください。

- プリンターの足ゴムが汚れ、プリンター本体が前後に滑ることがある場合、付属されている予備の足ゴムに交換してください。



- プリントヘッドのお掃除の際、エタノールやIPAなどがプリンターの内部に入り込まないようにご注意ください。



- 印字直後、プリントヘッドに触れないようにご注意ください。火傷の恐れがあります。

## 著作権について

全ての権限は、© BIXOLON Co., Ltd.が所有しています。

本書や製品に使用された著作物は、著作権法によって保護されます。

BIXOLON Co., Ltd.から事前に書面による同意なしで本書および製品に使用された著作物の一部または全てを無断で複製、保存、伝送することは禁じられます。

提供された情報は、本製品に対してのみ該当するもので、他の製品に対しては適用されません。

尚、本書の記載内容によって発生した直接・間接的な損害に対しては、責任を負いません。

- BIXOLONのロゴは、BIXOLON Co., Ltd.の登録商標です。
- その他の全ての商標および製品名は、該当する法人または組織の商標です。

BIXOLON Co., Ltd.は、製品の機能と品質の向上のために、継続的な改善を行っています。

それにより、製品の仕様と本書の内容は、事前の予告なく変更されることがあります。

## 使用上の注意

プリンターのような電子製品は、静電気によって容易に毀損されることがあります。

静電気からプリンターを保護するためには、プリンターの背面にケーブルを接続・解除する前に、必ずプリンターの電源を落としてください。もしプリンターに静電気による損傷があった場合は、ご購入の販売店へご連絡ください。